

令和５年度 第１回花巻市介護保険運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和５年９月２７日（水） 午後１時～２時３０分

2. 開催場所 花巻市保健センター ２階集団指導室

3. 出席者

(1) 委員 １４名

橋本純子委員、 菊池清委員、 大原初美委員、多田悦子委員、狩野隆史委員
佐々木一広委員、内館憲二委員、柳原克浩委員、那須秀逸委員、工藤直人委員
小木田勇輝委員、狩野敦史委員、影山一男委員、藤井廣志委員

(2) 欠席した委員 ４名

高橋弘毅委員、藤本莞爾委員 小田島克久委員 上川亜矢委員

(3) 花巻市 １０名

健康福祉部長 今井岳彦

健康福祉部健康づくり課長 長山義博

健康福祉部長寿福祉課	課長補佐（高齢福祉担当）	晴 山 達 也
------------	--------------	---------

健康福祉部長寿福祉課	課長補佐（包括支援担当）	小 綿 みはる
------------	--------------	---------

健康福祉部長寿福祉課	課長補佐（介護給付・介護認定担当）	佐々木 潔
------------	-------------------	-------

健康福祉部長寿福祉課	高齢福祉係長	菊 池 隆 則
------------	--------	---------

健康福祉部長寿福祉課	包括支援係長	伊 藤 幸 恵
------------	--------	---------

健康福祉部長寿福祉課	介護給付係長	藤 原 美紗子
------------	--------	---------

健康福祉部長寿福祉課	介護認定係長	有 戸 裕美子
------------	--------	---------

4. 協議

(1) 第８期介護保険事業計画の実施状況について

(2) 地域支援事業の実施状況について

(3) 第８期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について

(4) 保険者機能強化推進交付金について

(5) 地域密着型サービスの施設整備・人材確保事業について

(6) 第９期介護保険事業計画の策定について

5. 議事録

(1) 開会(晴山課長補佐)

これより令和5年度第1回花巻市介護保険運営協議会を開会いたします。
開会に当たり、健康福祉部長の今井から御挨拶申し上げます。

(2) あいさつ（今井健康福祉部長）

本日はお忙しい中、令和5年度第1回花巻市介護保険運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また日頃より、本市の高齢者福祉行政に対しまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

まず新型コロナウイルス感染症につきましては、本年5月より第5類に移行したところでございますが、岩手県におきましては感染が続いている状況で、医療機関や高齢者施設現場におきましては、引き続き感染拡大防止にご尽力いただいていることに深く敬意を表するところでございます。

さて、この介護保険運営協議会は花巻市介護保険事業計画等の推進および花巻市介護保険事業の健全な運営に関し、広く意見や提言を求めるために設置しているものでございます。本日の会議では、第8介護保険事業計画の実施状況についての他5点についてご協議をいただきます。どうぞ皆様の忌憚のないご意見をお願い申し上げます。開会にあたっての挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

<出席状況の報告>（晴山課長補佐）

会議に入る前に、本日の会議の出席状況を報告いたします。

本日の会議につきましては、委員18名中、過半数以上の14名の出席をいただいておりますので、花巻市介護保険運営協議会規則第5条第2項の規定により会議が成立することを報告させていただきます。

また、本会議は、花巻市審議会の会議の公開に関する指針により公開する会議となります。会議の傍聴を希望する方がある場合は、これを認めること。また、会議資料および会議録を市のホームページで公開いたしますことを申し上げます。

なお、マイクシステムによる録音をしておりますので、ご発言される方につきましては、初めにお名前をいただいてご発言いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは協議に移らせていただきます。会議議長は、規則第4条第2項の規定により会長となっておりますので、影山会長よろしくお願いいたします。

(3) 協議

（影山会長）

ただいま紹介いただきました影山と申します。本日は第1回目ということですが、協議事項が多岐にわたりますので、なるべく時間に合うような進行に努めたい

と思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。それでは座りながら進行させていただきたいと思います。

協議事項の（1）第8期介護保険事業計画の実施状況について事務局より説明をお願いいたします。

（佐々木課長補佐）

（1）介護保険事業計画の実施状況について資料1に沿って説明。

（影山会長）

ありがとうございました。資料の1、1ページから8ページにかけての資料を事務局より説明をいただきました。この説明について、各委員からご意見、質問等をいただきたいと思います。ご意見質問等ありましたらよろしくお願いいたします。

（狩野隆史委員）

5ページ目の利用者数ですが、施設サービスが毎年減っておりますが、これは何故でしょう。多分、コロナにより各ホームにおいてクラスターが発生すると、ほぼ2週間から3週間入所出来なくなります。大谷荘も1ヶ月ほどマイナス10名という状況が2回、3回続くと利用者数は減ります。4年は凄かった。それが原因と考えられますが、利用者が減るのであれば、施設をこれから整備することは目標にならないと思うので、その原因について調べた方がいいと思います。

（佐々木課長補佐）

承知しました。そのことにつきましては、分析等できれば進めたいと思いますが、介護度の高い方の人数がだんだん減ってきていることもあり、色々な原因があると思いますので、もう少し今年度の状況を見ていきたいと思います。

（今井部長）

追加です。委員のご指摘はその通りだと思います。ただ、実態として、施設の定員を割っているという話はあまり聞いておりません。定員を割っているということであれば、別の要因が考えられますが、受け入れができなかったということであれば、委員のご指摘のとおりサービスの受給者数に影響しますので、そういうところはあるのかと思いますが、分析させていただきたいと思います。

（狩野隆史委員）

年間の総人数は減っていると思います。

(今井部長)

ありがとうございます。

(影山会長)

他に質問等ございませんでしょうか。

(菊池清委員)

7ページ下の説明で、居宅サービスでは短期入所介護サービス事務所の廃止とか、通所介護サービス事業者の休止とありますが、どういう理由なのでしょう。また、地域密着型サービスでは廃止したことに伴い大きく下回ったとありますが、どういう理由でしょうか。

(佐々木補佐)

休止廃止の理由につきましては把握していないところですが、先ほど委員からありましたコロナの関係といったことは特に聞いておりません。人員の問題もあるとは思いますが、それぞれ事情があると思います。

(今井部長)

はい補足させていただきます。

まず一つ考えられるのは介護人材の確保ができていないかどうかということでございます。アンケート調査をしたときに、6割近くの事業所で人材が不足しているという回答もございますし、せっかくサービス提供しようと思っても、利用者がいるかどうか。運営が成り立つのかどうかということも一つポイントかと思えます。これについても、分析はして参りたいと思います。

(影山会長)

他に、ご意見質問いかがでしょうか？

(大原初美委員)

8ページの(3)新規申請者の認定者状況ですが、令和4年度になりまして、新規の要介護2の減少について教えていただきたい。

(有戸係長)

新規申請者が増えている要因といたしましては、ここ3年間、新型コロナウイルスが拡大し、それに伴って高齢者が罹患するとADLの状態も低下している現状により、そういった方のご相談が増えている。

(大原初美委員)

新型コロナウイルスの影響がそこまで大きく影響していたということがわかりました。ありがとうございました。

(影山会長)

他にございませんでしょうか。特になければ、次の協議事項に移らせていただきたいと思います。(2) 地域支援事業の実施状況について事務局より説明をお願いいたします。

(小綿課長補佐)

(2) 地域支援事業の実施状況について資料2に沿って説明。

(影山会長)

事務局より説明がありました資料2、9ページから12ページの説明について、委員の皆さんから質問意見等ございましたらよろしくお願ひいたします。

委員の皆さんいかがでしょうか。私の方から、10ページの2の包括的支援事業の10ページの一番下、(2) 家族介護継続支援事業の徘徊高齢者等SOSネットワーク事業のところ、見守り登録者実人数とか、あるいは見守り協力者、実人数。令和4年度、見守り登録した実人数24名、見守り協力者実人数113名。この人数の水準は、他市町と比べて、花巻市の水準は、どの位でしょうか。他市町も似たような水準でしょうか。もし分れば教えていただければと思います。

(小綿課長補佐)

登録者数、実人数等につきましては他市町村と比較した内容は、今は無いですが、他市町村の事業内容と当市の事業内容が、多少違うということで、比較できないところですが、今後、他市町村の状況も踏まえながら、事業の見直し等をしていきたいと思っています。

(影山会長)

ありがとうございました。高齢化社会が今後どんどん進行していく花巻市も9万人程度人口ですから、その高齢者人口と比べて、こういう見守りを支えるというか支援する人数が100名とか、そのぐらいで大丈夫なのだろうかということがありお聞きした次第です。すいません他の委員の方、如何でしょうか。

(大原初美委員)

12ページの9番、認知症総合事業に関する事で、花巻市はサポーター養成、いろいろな認知症に関する事業に力を入れていただいて、最近サポーターの数も多くなっていると認識しておりました。ステップアップ講座を実施したことによって、今までと違った効果とかについてお伺いしたい。確かにサポーターになっても、どのような活動をしていけばいいのか難しいというお話を聞いておまして、ステップアップ講座を受けたことによって、また違った活動ができるようになった等ありましたらお伺いしたい。

(小綿課長補佐)

ステップアップ講座、4年度に新たに行ったところですが、この事業につきましてはサポーター養成講座を修了した方の中から、5年度につきましては15名参加していただいております。

このステップアップ講座の中で更に事業内容を検討しながら、認知症の方が地域での社会参加に向けた活動等を支援するという形のチームオレンジの立ち上げに向かっていてところで、令和5年度はその事業の検討をしているというところになり、それが成果というところになります。

(影山会長)

よろしいでしょうか。その他委員の方から、地域支援事業の実施状況についての報告に関して質問、意見等いかがでしょうか。それでは特になければ協議事項

(3)に移っていききたいと思います。第8期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について、事務局より説明をお願いいたします。

(佐々木課長補佐)

(3) 第8期介護保険事業計画評価指標に対する自己評価について資料3に沿って説明。

(影山会長)

ありがとうございます。それではただいま事務局による説明について、質問意見如何でしょうか。

(菊地清委員)

今回、19ページ「地域ケア推進会議」について、今まで0だったのが市の全体の会議が行え、情報の共有ができたことは大変良かった。さらに18ページですが、今ご説明があった地域ケア個別会議実施回数ですが、表現的なことですが、3年度で選定の視点が定まっていなかったものの、目標は概ね達成できたとか、4年度も検討す

る事例の抽出について定まらず、目標とした回数の会議が開催できなかったとありますが、この表現はちょっとよくわからない。定まらないものに対して、目標を概ね達成できたということは、どういうことなのかについてお聞きしたい。もう一つが、16ページの「認知症の方やその家族への支援体制づくり」ということで、ニーズ調査の報告とか見ると、かなり認知症に対して心配だっていうアンケート結果がかなりあって、孫世代・小中学校からそういうお話をするのはすごくいいことだなというふうに思いました。例えばどんなことをしているのかということをお聞きしたい。

(小綿課長補佐)

地域ケア個別会議について、まず先にお話をさせていただきます。地域ケア個別会議につきましては、地域包括支援センターの方で他職種の方で検討していくという会議の内容になっているところですが、個別の困難ケースを重ねて会議をしているというところで、その積み重ねのところで、市として共通の検討する課題としてあがってくるという流れになっているところですが、共通する課題というところまで至っていないことがあります。4年度につきましては、後ほど出てくるところでありますが、地域課題がなかなか包括支援センターから出てこないということで、市でヒアリングを行い、各圏域での地域課題をまとめ、それを推進会議の開催に至ったところです。

あとは孫世代に対する認知症の講座ということで、こちらの方につきましては認知症とはどういうものなのか。認知症に対する方への子供たちからのお声かけだったり、急に驚かせてはいけないというような内容であったりを講座として行っているというところになります。小さい頃から認知症の方に優しく接しなければいけないとか、そういうところが身近に感じられる講座になっております。

(影山会長)

はい、ありがとうございます。他にどうぞ。

(橋本純子委員)

16ページですけれども、在宅介護講演会というところですが、それはACP(アドバンス・ケア・プランニング人生会議)、私もちょっと参加させていただいて、すごくいい内容でしたので、今後も1回と言わず、2回でも3回でも小分けにして、いろんな地域でやっていただきたいと希望しております。というのは、地域のお年寄りがこの講演会にきておりました。この人生会議という終活という形で、ずいぶん話題になったり、本が出たりしていますが、終活じゃなくて、これから生活するためにどんなことをしていけばという会議内容の講演だったので、この内容をもっと広

く花巻から発信していただきたいと思いますので、是非お願いします。

(小綿課長補佐)

ありがとうございます。ACPの講座につきましては、今までも、何回か継続してこの講演会の中で市民を対象に行っているものでありますが、生涯学習講座の出前講座に登録していますので、広く市民に周知できる講座としております。そして、この私の覚書ノートを使用しながら、自分がもしもの事あったときには、どのような形で過ごしたいかといったものを、事前を書いておくというような内容となっております。

(影山会長)

ありがとうございます。他にご意見いかがでしょうか。私もACPに関しては、もう少し簡単な説明でアドバンス・ケア・プランニングとか、括弧で入れていただいた方が、読む側からはわかりやすいし、また先ほど講演を聞いてすごく役に立ったということですし、日本医師会のホームページなどに書いてあり、広く知らせるためにも、こういう専門用語は、重要な考え方ですので必ず説明を加えていただければと思います。他に如何でしょうか。特になければ、(4) 保険者機能強化推進交付金について事務局よりお願いいたします。

(小綿課長補佐)

(4) 保険者機能強化推進交付金について資料4に沿って説明。

(影山会長)

はい、ありがとうございました。それではただいまの説明についてご質問等ありましたらお願いしたいと思います。如何でしょうか。

内示額3,154万円は、令和5年度に交付されることでよろしいでしょうか。

(小綿課長補佐)

はい。令和5年度になります。

(影山会長)

他に委員の方からございますか。

(柳原克浩委員)

24 ページの＜評価点の低い項目＞の二つ目。地域包括支援センター・地域ケア会議の部分ですが、2 行の家族等の介護離職防止に向けた支援を行っていないことか

ら評価に繋がらなかったとありまして、別紙の評価指標の11ページの⑦にアイウエと評価の項目がありますが、この中で、どこが出来て、どこが出来なかったか分かりますでしょうか。

(小綿課長補佐)

出来ていなかった項目につきましては、「地域に出向いて介護離職防止に関する相談会を実施している」というところと「専門職・関係機関と連携した取組を実施している」というところが出来ていなかったというところです。

(影山会長)

アとイは出来ているということですか。

(小綿課長補佐)

はい。

(影山会長)

他に如何でしょうか。特になければ次の協議に移っていきたいと思います。

(5) 地域密着型サービスの施設整備・人材確保事業について事務局より説明をお願いいたします。

(佐々木課長補佐)

(5) 地域密着型サービスの施設整備・人材確保事業について資料5に沿って説明

(影山会長)

ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について、委員の質問意見等ございましたら、お願いいたします。

(狩野隆史委員)

新しいグループホームグランツさん、四日町に既になかったですか。

(佐々木課長補佐)

四日町は法人の所在地になります。南万丁目に増設する予定です。小多機をグループホームに転換ということです。

(狩野隆史委員)

わかりました。

(橋本純子委員)

介護のお仕事セミナーですけれども、例えば令和4年度の受講生322人いますけれども、どういう反応があるのかおわかりですか。例えばアンケートをとってこういう仕事もいいなと思っているとか。というのは、今核家族になってきていますから、どうしても年配の方と接する機会は少なくなっていると思うので、この年代は、どんなことを考えているのか。大事と思っているのでしてみたいとか。全く違うことをしたいとか。何かそういうアンケート等とか内容がわかればちょっと教えていただきたい。

(藤原係長)

アンケートをセミナー実施後に学校受講をされた生徒さんからいただいております。アンケートの内容ですけれども、介護のお仕事に対してどんな印象を持っているかというものを受講前、受講後にいただいております。中学生と高校生で若干差はありますが、半分以上の生徒さんが、セミナーの開催前から開催後でイメージが良くなったと回答しています。アンケートの内容ですけれども、介護の仕事に対して温かい印象を持っているか。明るい印象を持っているか。自分にも出来そうか。魅力があると思うか。やりがいがあると思うか。好感が持てるか。というような内容で聞いております。傾向といたしましては、セミナーの開催前よりも受けてからの方が、非常に印象がアップしているという状況になっております。実際に介護の仕事に就きたいと思ってくださる高校生さんもセミナー開催後は増えている傾向にあります。

(橋本純子委員)

はい、ありがとうございます。そういう希望を持っている方をいかにそっちの方に進めていくかっていうのを検討していただいて、今、介護職の方がなかなかおられないというお話ですので、いい報告受けていただけるように、市でもバックアップしていただきたいと思います。

(狩野隆史委員)

去年から花巻北高校さんも参加されまして、福祉医療関係に進みたい人が6名かな。福祉大、県大終わった講師3人で行って、福祉の楽しさを知りましたという意見をいただきました。今年も北高の方から日程調整してくるそうですので、介護の現場の1人として成長していただければと思います。

(影山会長)

はい、ありがとうございます。他に質問意見等いかがでしょうか。なければ、
(6) 第9介護保険事業計画の策定について事務局より説明をお願いします。

(佐々木課長補佐)

(6) 第9介護保険事業計画の策定について資料6に沿って説明。

(影山会長)

ありがとうございました。それでは、具体的な施策目標ごとに質問意見求めていますかと思っています。第8期の取り組みの振り返りから得られた課題と、第9期に取り組むべき課題に関して、いくつか取り上げて説明をいただきました。施策目標の1から、質疑をしていきたいと思っています。「高齢者の積極的な社会参加の推進～生涯現役として活躍できる地域づくり～」この説明に関して、まず質問があればお願いしたいと思っています。

(橋本純子委員)

老人クラブ活動ですが、今までのように地域限定の老人クラブっていう考え方だと、もう人は集まってこないのではないのかと思うんです。ただ、あの元気な方はスポーツとか、それからいろんな趣味の中、老人大学に行ったりして、あの人たちの繋がりはずごく深く、元気です。老人クラブという地域的なものの範囲をもうちょっと大きくしてやってかないといけないのではないかなと私は思っていますが、今までのような地域ごとの老人クラブだと、ちょっと人が目いっぱいかなっていうふうに思いまして、ちょっと広げて、地域振興センターに何個か作るとか、そういうふうにちょっと大きなものの中から参加していただかないと、なんか成り立っていかないような感じになってきているのではないかなと思います。ご検討ください。

(今井部長)

はい、ありがとうございます。今、委員さんのご意見御もつともで、市は老人クラブの自主活動について、主として支援する立場ですが、例えば行政区単位ではやっぱり狭いとかありますので、例えばもうちょっと振興センター単位まで広げるとか別ですけども、もうちょっと広い視点というところについては、老人クラブと意見交換して検討してまいりたいと思います。

(大原初美委員)

1番の「積極的な社会参加の推進」のところで、2段目に敬老会対象者数と実績が載っています。この数だけ見ると、すごい参加人数で盛大に行われているなって

いうふうに見られるのではないかと思います。敬老会につきましては、市から社協への委託。社協からさらにコミュニティ等への委託という何段階もの委託があると思うんですけれども、最近では対象者の方を見直した方がよいのではないかと、コミュニティでの話がでていますが、なかなか社協では、市の主催だからということで変わらない実態がありますが、75歳以上が対象となっていて、実態に合っていないのではないかなという最近の状況です。75歳ですと現役で働いている方もまだまだいっぱいいらっしゃるって、私、民生委員もしておりますが、75歳で初めての敬老会のご案内をお届けしに行って申し込みをいただくと、まず、ほぼ参加はなしです。まだ自分がその老人という認識を皆さん持ってらっしゃらないというのが、本当なのかなと思うんです。77歳、喜寿というお祝いの年になって、初めて参加されるとか、あるんですけれども、この見直してというのは社協さんに話しても実行委員会とかで、市の方の全体が変わらないという話がありますので、ぜひ検討いただきたい。

(今井部長)

はい、ありがとうございます。まず確認ですけども、まず敬老会の事業につきましては、社会福祉協議会の事業でございます。市としましては、社協の事業に対し補助するという立場となっております。この実績値は、75歳以上の対象者の人数そのままでございます。確かに、その対象年齢の見直してことはあるかと思いますが、そこについては難しいところがありますので、ここについては見直しを含めて、今後検討させていただきます。

(影山会長)

はい、ありがとうございます。施策目標の1はよろしいでしょうか。それでは施策目標の2について、質問意見等ありましたら、如何でしょうか。

(大原初美委員)

健康づくりの介護予防の推進の部分で積極的に進めていただいて、例えば、通いの場ですね。元気で出まっせ体操と一緒に長寿の方だったり健康推進の方からだったり、年に2回とか、食生活のこととかを、口の健康作りのこととか、認知症予防とかっていうところでお話をいただいて、大変皆さんそれが好評でいいなっていうふうに言っていますので、ぜひこのところは今後も継続して進めていただきたいところだと思います。

(影山会長)

よろしいでしょうか。

(小綿課長補佐)

はい、ご意見ありがとうございます。継続して行っていきたいと思います。ありがとうございます。

(影山会長)

2のところでオンライン等の活用とありますが、これは老人クラブとかいったものをオンラインを通じた活動とかに積極的に支援していくと、オンラインで活動が広がるのではないのでしょうか。是非オンライン、デジタル化を推進していくっていうのは、是非やっていただければと思う。次の3の方に移っていきたいと思います。「安心して生活できる環境づくり」9期に向けたポイント、盛り込みたいポイントの質問如何でしょうか。

(内館憲二委員)

施設入所の申し込みは、特養にはどうしても欠かせない手続きです。これはですね、例えば、入院していて退院となると、特養の方に最低でも5ヶ所ぐらい申し込んだ方がいいですよとなる。そうすると、特養5ヶ所に、それぞれ申込する。1回あたり長い方で1時間ぐらい時間かかります。合計だと5時間。同じことを5回行う。施設側は、そういった5倍の労力が生活相談員にかかってくる。可能かどうか全く見当もつかないですが、どっか集中的に1ヶ所に申し込むようなシステムができれば、大変効率的で市民サービスの向上にもなり、もし検討できるのであればありがたい。

(今井部長)

大変難しい問題だと思います。今、5ヶ所に申し込みという話がありましたけれども基本的に、その申し込み者と施設の契約となりますので、果たしてその契約について、市がそういうシステムを作れるのか。ただし、実際そういう現場である施設の負担ということですから、課題があるのかなと思いますので、研究課題とさせていただきますと思います。

(内館憲二委員)

これは、私が思いついたことじゃなくて、他の自治体が、ちょっと出てこないのですが、市がシステム作りをして、特養を集め、申込書統一様式を作り、特養に事務局を作らせてやった事業があったというふうに聞いたので、もしあればと情報提供しました。

(今井部長)

ありがとうございます。特養に事務局を持つっていうところがポイントだと思います。後でまたお話をお伺いしたいと思います。

(影山会長)

はい。ぜひ先進事例を提供いただければと思います。続いて、施策目標3ご質問いかがですか。なければ施策目標の4ですね。「介護保険サービスの充実～持続可能な介護保険事業」のここに関して如何でしょうか。人材育成とか、認定サービス調査の平準化等々挙げられています。

(柳原克浩委員)

介護人材の確保養成研修体制の充実ですけれども、国の方から示されました第9期の基本指針のポイントの一番下に外国人材の受け入れ環境整備などと書いてありますが、花巻市でも、9期計画を策定するにあたってとか、外国人材の受け入れの環境整備等を予定とか検討とか、今のところ考えているのでしょうか。

(佐々木課長補佐)

具体的な決定はないんですけれども、第8期についても記載があったかと思う。国の方で示された内容につきましては、可能な限り盛り込んでいきたいと考えておりますので、ご意見として次期計画に反映させたいと思います。

(影山会長)

他に質問、ご意見如何でしょうか。他になれば第9期の計画策定のスケジュールを見ますと、来年の1月ぐらいには素案が出てくる。その素案の検討をこの協議で再び行うということですので、そのときまでにご意見、あるいは先進事例等そういうのがあるよということがあれば、情報を提供していただければと思います。それでは、協議事項(1)から(6)までこれで終了としたいと思います。

(4)閉会(晴山補佐)

影山会長ありがとうございます。それでは、これをもちまして、令和5年度第1回花巻市介護保険協議会を閉会とさせていただきます。次回第2回運営協議会は令和6年1月下旬の開催予定となっております。日程が決まりましたらご案内させていただきますので、よろしく願いいたします。本日は誠にありがとうございました。

なお引き続き地域包括支援センター運営協議会に出席されます皆様方に当たりましては、会場の準備がございますので、暫時休憩といたします。